



日本保健指導協会 教育 WG

2024 年度 第 2 回座談会報告書

2024 年 11 月 21 日 (木)

目次

教育 WG 意見交換会	3
1.日時	3
2.場所	3
3.出席者	3
4.背景	3
5.目的	4
6.方法	4
7.当日のスケジュール	4
8.第 4 期開始後の苦慮事例について	5
9.保険者様との意見交換会	5

教育 WG 意見交換会

1.日時

2024年11月21日（木）14:00～16:00

2.場所

ステーションコンファレンス万世橋

〒101-0041 東京都千代田区神田須田町1丁目25 3階・4階 JR神田万世橋ビル



3.出席者

講師：津下一代先生

第2部参加者：健康保険組合様（2組合）

会員参加者（敬称略）：対面25名、オンライン14名にて実施

会社名
SOMPOヘルスサポート(株)
保健支援センター (株)アドバンテッジリスクマネジメント
カゴメ(株)
(株)フィッツプラス
パーソルビジネスプロセスデザイン(株)
(株)メディヴァ
(株)現代けんこう出版
(株)ベネフィット・ワン
(株)MEDIROM MOTHER Labs
ALSOK あんしんケアサポート(株)
桜十字



4.背景

第4期特定健診・保健指導が始まり、業務の中で苦慮事例が出てきた。各参加者で事例を持ち寄り共有することで、知見を深め、より良い保健指導を目指す。

また、保険者と指導機関が取り組み等を共有することで、お互いに保健指導についての認識をすり合わせ、今後の業務に活かす。

5.目的

- ・専門職同士が話し合えるコミュニケーションの場をつくる
- ・苦慮事例について津下先生よりアドバイスを頂き、専門職による特定保健指導に活かす。
- ・保険者と指導機関の意見交換により、互いの取り組み等についての理解を深める。

6.方法

対面とオンラインのハイブリッド型



7.当日のスケジュール

・14:00～14:05 オリエンテーション

●第1部 第4期意見交換会

・14:10～14:20 第4期開始後の苦慮事例について

- ①無関心期の対象者のアウトカム評価を目指す目標設定
- ②すでに生活改善に前向きに取り組まれており“継続”の目標を設定せざるを得ない場合
- ③アウトカムを意識した目標立案と評価方法

・14:20～14:40 グループディスカッション

・14:40～15:05 発表

・15:05～15:10 まとめ

●第2部 保険者様との意見交換会

・15:15～15:20 第2部参加者のご紹介

・15:20～15:50 ①保険者が指導機関に期待すること、指導機関として期待に応えるための準備と実践方法について

②保険者と指導機関との間でギャップを感じる点、それぞれの視点から、より良い支援に向けて工夫できること

③保険者、指導機関でアウトカム達成率向上に向けて取り組んでいる内容について

・15:50～16:00 ①②③の意見交換をうけて総括（津下先生）

8.第4期開始後の苦慮事例について

参加者の、第4期開始後の事例発表後に津下先生よりそれぞれの事例についてアドバイスをいただいた。その後、先生方のアドバイスをもとに、今後の業務での活かし方についてディスカッションをして理解を深めた。

【ディスカッションテーマ】

- 1) 無関心期の対象者のアウトカム評価を目指す目標設定
- 2) すでに生活改善に前向きに取り組まれており“継続”の目標を設定せざるを得ない場合
- 3) アウトカムを意識した目標立案と評価方法

9.保険者様との意見交換会

下記1)～3)の各内容について保険者ご担当者様と、教育WGの専門職メンバーで意見交換を行った。

- 1) 保険者が指導機関に期待していること、指導機関として期待に応えるための準備と実践方法
- 2) 保険者と指導機関との間でギャップを感じる点、それぞれの視点から、より良い支援に向けて工夫できること
- 3) 保険者、指導機関でアウトカム達成率向上に向けて取り組んでいる内容について